

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

指揮 **ハンヌ・リントウ**

世界の著名楽団を振るフィンランドの鬼才

凍てつく時を撃て!

神秘的なサウンドに包まれ、
人知を超えた壮大な世界が広がる!

シベリウス: 交響的幻想曲「ポホヨラの娘」作品49

バルトーク: ピアノ協奏曲第3番 小長調

サーリアホ: 冬の空

シベリウス: 交響曲第7番 小長調 作品105

読売日本交響楽団 第653回 定期演奏会

2025 **11.27** (木) 19:00 **サントリーホール**

S¥8,800 A¥7,700 B¥6,600 C¥5,500

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会

協力: アフラック生命保険株式会社

ピアノ
**ピョートル・
アンデルシェフスキ**

独自の世界観を持ち
現代最高峰との呼び声高い
孤高のピアニスト

©Simon Fowler

HANNU LINTU Conductor

PIOTR ANDERSZEWSKI Piano

SIBELIUS: Pohjola's Daughter op. 49

BARTÓK: Piano Concerto No. 3 in E major

SAARIAHO: Ciel d'hiver

SIBELIUS: Symphony No. 7 in C major, op. 105

YNSO Subscription Concert No. 653

Thu. 27 Nov. 2025 19:00 Suntory Hall

北欧の空気を思わせる、 清新なサウンドが会場を満たす！

フィンランドの鬼才と 現代最高峰のピアニストが登場。

フィンランド出身の鬼才リントゥが、読響に初登場する注目のコンサート。名教師パヌラに師事した彼は、ニューヨーク・フィル、バイエルン放送響など世界の著名楽団に客演し、フィンランド国立歌劇場の首席指揮者などを務めている。今回、得意とする“お国もの”のシベリウスの2曲を軸としたプログラムを披露する。なお、後半のサーリアホ作品とシベリウスの交響曲第7番は、リントゥが2024年のベルリン・フィルへのデビューでも取り上げ、称賛を浴びた“勝負曲”だ。



©Marco Borggreve

メインのシベリウスの交響曲第7番は、単一楽章の構成による作曲家の最後の交響曲。大自然を思わせる壮大さを持ち、彼岸への境地に達したかのような深遠さを感じられる、比類ない交響曲と言えるだろう。リントゥは繊細かつ透明感あふれるサウンドを引き出し、母国を代表する偉大な作曲家による独自の世界観を露わにするはずだ。

1曲目は、シベリウスの交響的幻想曲「ボホヨラの娘」。フィンランドの民族叙事詩「カレワラ」の英雄ヴァイナモイネンと北国ボホヨラの娘の物語を描いた曲。リントゥの切れ味鋭いタクトは、オペラを観ているかのように目まぐるしく展開するこの曲をドラマティックに描くだろう。

3曲目には、現代音楽の解釈者としても名高いリントゥが、フィンランドを代表する20～21世紀の作曲家サーリアホの「冬の空」を指揮する。冷たい大気に覆われた空を見上げているかのような、サウンドスケープ的で斬新な音響像が、聴き手を現実ではない別の時空へと誘うはずだ。

前半には、ウィーン・フィル、ロンドン響などと世界の檜舞台で共演する現代最高峰のピアニスト、ピョートル・アンデルシェフスキがバルトークのピアノ協奏曲第3番で共演する。この曲は幻想的な趣を持ち、バルトークの並々ならぬ情熱が溢れ出ており、作曲家の晩年の最高傑作とされている。アンデルシェフスキは、独創性に富んだ大胆な解釈と繊細なタッチにより、唯一無二の美的空間を作るだろう。

ハンヌ・リントゥ 指揮 コンサートとオペラの両方で目覚ましい活躍をみせるフィンランドの鬼才。シベリウス音楽院でチェロとピアノを学び、ヨルマ・パヌラに指揮を師事。現在、フィンランド国立歌劇場の首席指揮者、ポルトガルのグルベンキアン管の音楽監督などで手腕を発揮し、高い評価を得ている。これまでベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、バイエルン放送響、クリーヴランド管、ボストン響、シカゴ響、フランス国立管、ベルリン・ドイツ響などを振り、パリ・オペラ座、バイエルン国立歌劇場、ブレゲンツ音楽祭などで活躍している。CDもオンディーヌやBISレーベルから多数リリースしている。2026年からはシンガポール響の音楽監督に就任する。今回、読響に初登場。

©Veikko Kähkönen



©Simon Fowler

ピョートル・ アンデルシェフスキ ピアノ

世界中の主要なコンサートホールで演奏している現代を代表する傑出した音楽家の一人。ポーランドのワルシャワ生まれ。ドイツ・オーストリア古典派を中心としたレパートリーを持ち、中欧のバルトーク、ヤナーチェク、シマンフスキ作品などでも高い評価を得ている。これまでウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、シカゴ響、パリ管など世界の著名楽団と共演。モーツァルトの協奏曲では、ヨーロッパ室内管、スコットランド室内管などを弾き振りして、好評を博した。専属しているワーナー・ミュージックなどから多くのCDをリリースし、グラモフォン賞など多くの賞を受賞。読響には2018年に続き、二度目の登場。

読売日本交響楽団 第653回 定期演奏会

2025年 11月27日(木) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800/A ¥7,700/B ¥6,600/C ~~¥5,500~~ **SOLD OUT**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>